

事務事業名		表彰事業		☐ 実施計画掲載事業 ☐ 合併建設計画掲載事業																														
政策体系	政策名	03 やすらぎある安全なまちづくりの推進		事業期間 ☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入																														
	施策名	08 消防・救急・救助体制の充実																																
	基本事業名	01 防火意識の高揚と火災予防の徹底																																
根拠法令		大船渡市消防団規則、大船渡市消防団表彰規程		予算科目 会計 款 項 目 事業 01 09 01 02 09																														
所属	部課名	大船渡消防署																																
	課長名	中井栄一郎																																
	係 名	消防団係	電話 27-2119																															
	担当者	武田吉宏	内線 245																															
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述) 消防団員として他の模範となるものを表彰し士気の高揚を図る。また、一般市民(個人又は団体)で消防に著しい功労があり他の模範とする者に対し、表彰状又は感謝状を贈呈し、さらなる防火意識の高揚を図る。実施時期は、春季消防演習と消防出初式に行っている。毎年11月中各分団に内申させ、12月に表彰選考会を実施し決定する。予算は賞状と山形、記念品等で報償費より支出される。																																		
全体計画(※期間限定複数年度のみ) 総投入量 (千円) <table border="1"> <tr> <td rowspan="5">事業費</td> <td>財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>事業費計 (A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>人件費計 (B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td></td> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>						事業費	財源内訳	国庫支出金			都道府県支出金			地方債			その他			一般財源		人件費	事業費計 (A)	0	正規職員従事人数		延べ業務時間			人件費計 (B)	0		トータルコスト(A)+(B)	0
事業費	財源内訳	国庫支出金																																
		都道府県支出金																																
		地方債																																
		その他																																
		一般財源																																
人件費	事業費計 (A)	0																																
	正規職員従事人数																																	
	延べ業務時間																																	
	人件費計 (B)	0																																
	トータルコスト(A)+(B)	0																																

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 手段(主な活動) 前年度実績(前年度に行った主な活動) 消防団員として他の模範となるものを春季消防演習時に表彰した。消防に著しく功績のあった団体(個人)を表彰した。		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 名称 単位 ア 大船渡市表彰の種類 種 イ 岩手県・県消防協会の種類 種 ウ 一般表彰した団体(個人) 人	
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 昨年と同様			
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ・消防団 ・消防団員 ・市民(個人・団体)		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 名称 単位 カ 消防団員組織数(分団数) 分団 キ 消防団員数 人 ク 市民(人口) 人	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) ・団員の士気を高める。 ・防災意識の高揚を図る。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 名称 単位 サ 表彰された分団の割合 % シ 表彰された消防団員の割合 % ス これまでに表彰された団体(個人)の累計 団体(人)	
④ 結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか) ・消防団員としての誇りを持ち、その使命を再確認する。			

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	年度	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(目標)	27年度(目標)	28年度(目標)
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円						
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	97	88	60	96	96	96
	事業費計 (A)		千 円	97	88	60	96	96	96
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時 間	720	720	720	720	720	720
		人件費計 (B)	千 円	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880	2,880
	トータルコスト(A)+(B)		千 円	2,977	2,968	2,940	2,976	2,976	2,976
⑤活動指標		ア	種	8	8	8	8	8	8
		イ	種	13	13	13	13	13	13
		ウ	人	1	1	5	1	1	1
⑥対象指標		カ	分団	12	12	12	12	12	12
		キ	人	1,051	1,008	1,023	1000	1000	1000
		ク	人	39,376	39,117	39,090	39,376	39,376	39,376
⑦成果指標		サ	%	100	100	100	100	100	100
		シ	%	15	18	16	20	20	20
		ス	団体(人)	26	28	32	29	30	31

事務事業ID	1102	事務事業名	表彰事業
--------	------	-------	------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
消防団員として他の模範となるものを表彰し、士気の高揚を図るために実施。また、一般市民（個人・団体）の消防活動等の協力者に対して敬意を表した。（大船渡市消防団表彰規程・昭和27年11月、大船渡市消防団規則・昭和42年12月）

② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
・団員特別功労を積極的に行うことにより、団員の士気が高まった。
・市民への一般表彰の積極的な実施により、防災意識の高揚が図られた。

③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている ⇒【理由】⇒ 消防団員の士気が高揚すれば消防団の活性化につながり、消防力の充実に結びつく。 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である ⇒【理由】⇒ 自治体消防責任の一翼を担う者に功績があれば顕彰すべきである。 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である ⇒【理由】⇒ 長い間の実績によって、団員に定着している。 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	☐ 向上余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 長い間の実績によって、団員に定着している。 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 ⇒【その内容】⇒ 消防団員の士気の高揚が期待できなくなる。 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある ⇒ (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 市の表彰、あるいは支部の表彰を受けなければ上部団体の表彰につながらない。 ☐ 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 表彰されることは名誉なことであり、それなりの体裁が必要である。 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）
	⑧ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 不可能である。 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 自治体の消防責任の一翼を担う者に功績があれば顕彰すべきである。 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

事務事業ID	1102	事務事業名	表彰事業
--------	------	-------	------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	消防団員の士気を高め、出火時に的確な消火活動ができる体制を確立する事業は、本事業だけではないかと思われます。また、一般市民等に対して感謝や敬意を表す行為についても、本事業だけではないかと思われます。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 本事業は、伝統に培われてすでに全国統一されており、変更等の余地はない。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																						
表彰選考を厳正にすべきである。																						

2次評価者	(職 名) ※原則として施策の主管課長 大船渡消防署長	(氏 名) 中井栄一郎
-------	--------------------------------	----------------

4 事務事業の2次評価結果

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合																						
①記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択)																						
☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている																						
②評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択)																						
☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)																						
(2) 2次評価者としての評価結果	(3) 評価結果の根拠と理由																					
<table><tr><td>① 目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>② 有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>③ 効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr><tr><td>④ 公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr></table>	① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	消防団員の士気高揚のため、他の模範となる者を表彰することは組織として必要なことであり、伝統である。 必要性についてよく理解している。									
① 目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
② 有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
③ 効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
④ 公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																				
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可)	(5) 改革・改善による期待成果																					
<table><tr><td>☐ 廃止</td><td>☐ 休止</td><td>☐ 目的再設定</td><td>☐ 事業統合・連携</td><td>☒ 現状維持</td></tr><tr><td colspan="5">事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)</td></tr></table> (上記方向性に対する具体的な内容) 組織を活性化し団員の士気高揚を図るため、努力している団員の功績を讃えることは必要なことであり、伝統となっている。 継続して実施する。	☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持	事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)					左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要)											
☐ 廃止	☐ 休止	☐ 目的再設定	☐ 事業統合・連携	☒ 現状維持																		
事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善)																						
<table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td>●</td><td>×</td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td>×</td><td>×</td></tr></table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議での指摘事項